



令和7年2月28日

武蔵台学園だより 最終号

東京都立武蔵台学園 校長 金子 猛
〒183-0042 東京都府中市武蔵台 2-8-28
電話 (042) 576-7491 FAX (042) 576-7526

ホームページアドレス <http://www.musashidai-sh.metro.tokyo.jp/>

デジタル化とface-to-face

校長 金子 猛

令和6年度も残すところあと1か月となりました。今年度のまとめと次年度の展望についてお伝えする全校保護者会を2月に開催した際は、79名もの方が来校してくださいました。昨年度は49名でしたので、1.6倍に増えたことになります。今年度は他にも、5月の体育発表会（小・中学部380名、高等部229名）、授業参観（6月平日の3日間で440名、11月平日と土曜日の2日間で497名、うち土曜日のみで203名）、文化祭（12月小・中学部419名、1月高等部けやき祭での舞台発表と作業製品販売625名※昨年度の1.75倍）というように、多くの方が学校にお越しくださるようになったことは、大変嬉しいことでした。

昨今、全国的にどの学校もデジタル化推進が取組課題とされ、本校も指導面や校務運用面でデジタル活用に力を入れているところです。その効果は、子供にとっての分かりやすさであったり、業務の効率化であったりで、学校評価での保護者のwebによる回答率が95.8%（昨年度比2.8ポイント増加）など、保護者のご理解ご協力のもと進めることができたことに感謝しております。さらに来年度は、デジタル連絡帳の導入など、丁寧な説明のもとに推進を加速してまいります。



一方、学校評価では紙による調査を併用したり、デジタル連絡帳では1学期間を移行期間として希望の方にこれまでの手段を残したりするなど、デジタルに不慣れな方へのフォローも忘れてはなりません。前述のとおり、来校者が増えるということは、face-to-face（対面）の貴重な機会への価値観が高まっているということであり、デジタル化とともに拡充していかなければならないことなのです。

★コラム 情報部【ICTを活用した教育】★

本校では、全教員がICTを活用した授業や教育活動を展開できるよう、日々研鑽に励んでおります。この取組を継続しているため、個々の教員や学校全体のICTに対応するレベルは向上しています。今回のコラムでは、今年度の実践と来年度の取組をご紹介します。

今年度は、日本教育工学会SIG-SE主催令和6年度第1回ICT作品コンテストに本校小学部5年生6名の作品を応募し、5名が受賞することができました。その中の1名のインタビュー記事が、2月15日発売のGakken「実践みんなの特別支援教育」の3月号に掲載されております。ぜひご覧ください。また、来年度はデジタル連絡帳を活用していきます。これにより、日々の保護者と教員間のコミュニケーションを迅速かつ効率的に行うことができ、連絡事項、お知らせ、欠席連絡等の情報を一本化することが可能になります。どうぞご期待ください。

